



# 議会だより

■発行 奥尻町議会 ■編集 広報編集特別委員会 ☎01397 2-3412 番 FAX01397 2-3929 番



## パークゴルフ盛ん！

9月9日、神威脇地区・北追岬公園内のリトレパークゴルフ場で、「第2回奥尻島観光協会杯パークゴルフ大会」が開催され、島内から29名、島外から26名の計55名が参加し、熱戦が繰り広げられました。

### 【主な目次】

#### ●第3回定例町議会

- ・一般質問：制野 征男議員 ……P2～5
- 工藤 勇議員 …… P6
- ・報告、専決処分、補正予算、人事ほか ……P7～8

#### ●平成23年度決算 …… P9

#### ●総務産業常任委員会 ……P10

#### ●議員広報研修会ほか ……P11

# 第3回定例町議会

平成24年9月19日と20日の2日間にわたって「第3回奥尻町議会定例会」が開会され、2名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

## 一般質問

意向は伝えているのか実情を尋ねたい。

奥尻港湾用地内の店舗



### 奥尻港空き店舗の 公募・開店の動きは

制野 征男 議員



ら寄贈を受けて、新たな利用者募るべきだとの意向を町側に示している経緯がある。

奥尻港の土産店が閉鎖したままだが、町議会では、所有者の土産店の代表者か

今年度の観光シーズンもピークを過ぎたが、公募や開店の動きが見受けられないことから、所有者との接触及び寄付してほしいとの

### 法人と債権者との 解決後に検討したい

新村 卓実 町長

答弁

土産店の法人の代表者は個人破産をしているが、法人そのものは債権もあり、破産手続きをしていないので、結論として、港湾用地にある物件は法人の所有であり、売買でも賃貸でもお

金にできる可能性のものを、無償で行政に寄付すること

は好ましくないと、弁護士からアドバイスを受けている。

今後、代表者もしくは法人と債権者との間で解決の方向で進みましたら、代表者の意向も含め検討していきたい。

# 防災施設の改善と

## 今後の対応策は

制野 征男 議員

質問

北海道南西沖地震から19年が経過し、昨年の東北大地震災の発生によって奥尻島の防災施設に関心が高まっている。

必要だと思うが、町はどのような認識でいるのかお聞きしたい。

▲避難路と表示板

しかし、太陽光を活用しての避難路と点滅する表示板は島内に42箇所あるものの1箇所も点滅していない実態があるが、いつまで放置するつもりか。  
また、非常用の水・食糧などの確保の実態、さらに波対策の一環として海面からの高さを表示することは



答弁

表示板を整備してから15年が経過しているが、雷などの電磁波で基盤に故障が発生しており、今後の改良

今後のより良い改善策を考えている

新村 卓実 町長

策として、蓄光の塗料塗装を考えている。備蓄については、地域が分散され一括管理が難しい

### 議会運営委員会を開催

9月13日及び20日に開会された「議会運営委員会」の概要についてお知らせします。

■9月13日

9月19日に開会する「第3回奥尻町議会定例会」の議事運営について審議しました。

会期は19日から21日までの3日間とし、意見書については5意見書について各委員による提案とすることなどを決定しました。

■9月20日

9月20日に「決算審査特別委員会」に付託された案件の審議が終了したことから、会期の繰上げを決定しました。

# 町長の目指す

## 完結型の医療体制は

制野 征男 議員

患者ニーズに応える  
安全安心な医療提供を

質問

町長は、国保病院としては完結型の医療を目指すのが、現実の体制は、町長の目指す方向に移行していると認識しているか。

また、医師との協議で、離島における完結型医療を目指すのが町長の意向であると、明確に伝えているのか。

平成23年度決算での国保会計の医療費の動向からみての町長の見解を尋ねたい。

奥尻町国民健康保険病院



答弁

離島での完結型医療は前院長の提唱により、その方向性を支持してきたが突然退職され、全国的に医師不足の中奔走し、現院長をお迎えしました。

その際、現院長には奥尻の現状と要望は伝えており、努力してくれていると思う。

また、医療費の動向については、数値だけでは完結型医療か医療でないかは判断できず、当病院の国保会計における医療費の率は減少している現状だが、今後は患者のニーズに応える安心で安全な医療の提供を各医師に求めています。

新村 卓実 町長

議会は、町民みなさんと行政を結ぶパイプです。

# ぼうちょう 議会は傍聴することができます

手続きは簡単

傍聴者名簿に住所、氏名を記入するだけ ☆★ 次の定例会は12月です。★★

# 荷捌き施設内の

# 畜養施設の活用を

制野 征男 議員

質問

土曜日にはイカ漁が休業  
（※）することから、日曜日に新鮮なイカの刺身を観光客などに提供できない実情にある。

▲荷捌き施設内の畜養施設



施設を視察する総務産業常任委員会

それを、荷捌き施設内にできた蓄養施設を活用することで、イカ漁の休漁の体制に対応できると考えるが物理的に可能なのか。  
また、活用できるとなれば、観光産業の関係者や一般町民にも歓迎されると思うが、見解をお聞きしたい。

（※）価格の安定や乗組員の休養及び市場休日に合わせ、「北海道イカ釣漁業協議会」において休漁日が設けられており、土曜日は操業できないことになっている  
（答弁より）

改修や管理が必要  
規模的に対応は困難

新村 卓実 町長

答弁

荷捌き施設の活魚水槽でイカ活魚を収容するには、施設の改修や職員の管理が必要となり、現在の漁協職員では対応が困難だと考えられる。  
また、この施設を活用で

できれば皆さんに喜ばれると認識しているが、活魚水槽では他の魚種も利用されており、施設の規模が小さいため対応ができないと思われる。

# 一般質問

## 選挙公約の未実施は 新年度予算編成に活かせ

工藤 勇 議員

編成に役立たせるべきではないか。



**質問**

町長選挙における公約は町民との約束であり、手のついていない事項が多く、町長の姿勢が問われています。

具体的な検証をし、町民に対して報告と反省を示すべきであり、新年度予算の

## 副町長を配置し 風通しの良い職場に

**答弁**

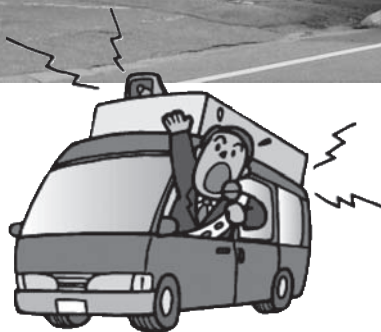
選挙公約で制度上、財政的な事情から実現できない

事項もあるが、引き続き実施に向けて努力をしていく

新村 卓実 町長



▲奥尻町役場庁舎



副町長については、日常業務で相談や適切なアドバイスをしている姿をよく目にします。

ことにしている。副町長の配置で風通しの良い職場になったのかとの質問もされたが、議会の承認を得て選任したもので、  
出張で留守にした場合でも蜜に連絡をもらい、職員間、職場内において私自身、予想以上の風通しの良い職場だと感じています。

平成24年9月19日と20日の2日間にわたって開会された「第3回奥尻町議会定例会」では、平成24年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算等について審議し、いずれも原案どおり可決されて20日に閉会しました。また、平成23年度各会計歳入歳出決算は、決算審査特別委員会に付託しました。

**報 告**

●平成23年度財政健全化比率の報告について

●平成23年度奥尻町一般会計補正予算(第3号)

国民健康保険病院事業会計及び簡易水道事業特別会計、港湾施設用地造成事業特別会計、公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計の公営企業について、平成23年度の資金不足比率はそれぞれ発生しなかったため、現在のところ経営は良好であると認められるとの報告がありました。

また、将来負担比率についても95・2%となっており、早期健全化基準の350・0%と比較するとこれを下回っており、良好な状態にあると認められるとの報告がありました。

●平成23年度資金不足比率の報告について

●平成24年度奥尻町一般会計補正予算(第4号)

●平成24年度奥尻町一般会計補正予算(第5号)

全道中学校陸上・卓球大会出場に係る予算措置で、歳入歳出それぞれ46万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を32億6百40万9千円としました。

●平成24年度奥尻町一般会計補正予算(第4号)

光ファイバーケーブル施設に係る予算措置で、歳入歳出それぞれ86万9千円を

**専 決 処 分**

**補 正 予 算  
(一 般 会 計)**

追加し、歳入歳出予算総額を32億7百27万8千円としました。

国庫支出金	56万7千円
道支出金	4千4百3万3千円
繰入金	△1億67万5千円
繰越金	2千3百27万7千円
諸収入	34万9千円
町債	1千2百35万8千円

●平成24年度奥尻町一般会計補正予算(第5号)

●平成24年度奥尻町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億3千3百65万6千円を追加し、歳入歳出予算総額を33億4千93万4千円としました。	歳入歳出	△7百52万5千円
補正内容及び補正額は次のとおりです。	民生費	5百85万1千円
	衛生費	6千5百万4千円
	農林水産業費	5百6万5千円
	商工費	7百69万4千円
	土木費	3千4百82万円
	消防費	△28万8千円
	教育費	2百36万9千円
	公債費	△1百73万9千円
	諸支出金	2千2百17万1千円

**〔歳入〕**

地方特例交付金	△9万5千円
地方交付税	1億5千3百59万1千円
使用料及び手数料	25万1千円



# 補正予算 (特別会計)

●平成24年度奥尻町バス交通事業特別会計補正予算  
(第1号)

.....

.....原案可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1千12万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を6千1百58万6千円としました。

●平成24年度奥尻町自動車整備工場事業特別会計補正予算(第1号)

.....

.....原案可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1百92万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を8千6百28万4千円としました。

●平成24年度奥尻町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

.....

.....原案可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1千6百7万7千円を追加し、歳入歳出予算総額を4億8千6百20万9千円としました。

●平成24年度奥尻町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

.....

.....原案可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1百58万4千円を追加し、歳入歳出予算総額を2億3千8百54万5千円としました。

●平成24年度奥尻町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

.....

.....原案可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ89万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を1億7百62万7千円としました。

●平成24年度奥尻町国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号)

.....

.....原案可決

収益的収入に6千1百87万2千円を追加し、総額6億8千2百27万9千円に、収益的支出から6万7千円を減額し、総額8億3千66万3千円としました。

また、資本的収入に4千円を追加し、総額6百34万9千円に、資本的支出に1万1千円を追加し、総額1千4百81万4千円としました。

## 人事

●奥尻町固定資産評価審査委員会委員の選任について

.....

.....同意

次の方が議会の同意を得て、奥尻町固定資産評価審査委員会委員に選任されました。

奥尻町字奥尻497番地

佐藤 仁 氏

奥尻町字奥尻35番地

任期 平成24年10月1日  
～平成27年9月30日

任期 平成24年10月4日  
～平成28年10月3日

瀬戸 弘 氏

奥尻町字富里309番地5

●奥尻町教育委員会委員の任命について

.....

.....同意

次の方が議会の同意を得て、奥尻町教育委員会委員

成田 千代子 氏

任期 平成24年10月1日  
～平成28年9月30日

## 意見書を提出しました

議会運営委員から発議のあった次の意見書は、可決されたことにより各関係機関へ提出してまいります。

◎地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

◎森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

◎保険で良い歯科医療の実現を求める意見書

◎泊原発の再稼働をやめ、原発ゼロの北海道の実現を求める意見書

◎米軍輸送機「オスプレイ」の配備撤回、および国内飛行訓練中止を求める意見書

◎米軍輸送機「オスプレイ」の配備撤回、および国内飛行訓練中止を求める意見書



決算審査特別委員会に付託

平成23年度決算

20日開会  
原案どおり認定

平成23年度奥尻町一般会計・各特別会計決算の認定審査については、議長及び監査委員を除く6名の議員で構成する「決算審査特別委員会」（委員長・制野征男）に付託され、9月20日に同委員会が開会しました。



審議の結果、付託された平成23年度各会計決算は、原案のとおり認定することで決定しました。  
その後、本会議で委員長報告がされ、各会計決算はすべて原案どおり全員一致で認定されました。  
認定された平成23年度奥尻町各会計の決算は、次のとおりです。

決算の認定

平成23年度奥尻町各会計決算は、次のとおり認定されました。

平成23年度 奥尻町各会計決算

(単位：円)

区分	会計名	歳入	歳出	差引残額
一	一般会計	3,587,333,196	3,563,055,202	24,277,994
	バス交通事業特別会計	68,773,718	68,764,909	8,809
	自動車整備工場事業特別会計	103,571,885	101,486,387	2,085,498
	あわび種苗育成センター事業特別会計	47,062,141	47,062,141	0
	国民健康保険事業勘定特別会計	537,406,321	532,418,165	4,988,156
	国民健康保険直営診療所特別会計	38,936,685	37,811,296	1,125,389
	後期高齢者医療事業特別会計	32,246,702	32,078,302	168,400
	介護保険事業勘定特別会計	236,671,547	235,736,648	934,899
	介護保険サービス事業勘定特別会計	15,684,191	15,684,191	0
	簡易水道事業特別会計	52,579,650	52,295,433	284,217
	港湾施設用地造成事業特別会計	29,391,705	29,385,986	5,719
	公共下水道事業特別会計	104,384,134	104,343,516	40,618
	漁業集落排水事業特別会計	30,539,020	30,494,379	44,641
	国民健康保険 病院事業会計	807,713,129	792,355,297	15,357,832
	資本的収入及び支出	11,721,000	17,924,602	△6,203,602

# 総務産業常任委員会

9月7日に開会された「総務産業常任委員会」の概要についてお知らせします。

9月7日

## 企業管理課関係

- 三浦課長から、
  - バスの運行はフェリーダイヤ、通学の時間帯への対応を基本としている
  - 平成26年度に小学校の統合があることから、老朽化したバスの更新を新年度に要求する
  - 赤字額は、地方交付税で80パーセントの補填があり、奥尻町へ一括交付なので実額は不透明
- との報告がありました。



委員から、来年度の運転手の採用は1名でよいのか、正副の整備管理者を置かなければならないのか、との指摘に対し、課長から来年度は1名の退職と1名が病気で乗務させていない実態

を配慮していきたい。整備管理者は今年度中に資格を取得させる。

また、委員から、低燃費の小型バスに対応できないのか、との意見に対して、課長から現在大型バス3台と中型バス2台で対応しており、通学時間帯では大型バスがないと無理なことから、現行のバスの保有がベターです。との回答がありました。

## 住民課関係

- 田中課長から、
- 青苗歯科診療所について夏目医師が江差で診療を始めるとのことで、青苗診療所を金曜日は休診したいとの意向である。
- 江差の開業により法人化したいとの意思があり、法人化され次第、契約方法を変更したい。
- 現状では、夏目医師が雇用する歯科医師と町とで契



約する方法をとる。

との報告がありました。委員から、金曜日が休診になるなら、町民への周知をし、不便をかけない対策をとるように、との指摘がありました。

あるので、役場の技師と点検を行うようにしたい。

○今までは目視で、学校と教育委員会で実施はしており、問題はなく心配はいらない。との説明がされました。

委員から、体育館の屋根の下のパネルのズレ、テレビの固定などの点検もすべきだ、との指摘がされたことについて、点検項目に加えるが、ピアノ、薬品庫などの落下防止などは行っている。との回答がありました。

## 教育委員会関係

- 石島教育長から、
- 北海道新聞に掲載された公立学校の非構造材耐震点検については、専門化による点検はしていない実態に



# 議員広報研修会に参加

## 編集作業のノウハウ学ぶ

8月23日、北海道町村議会議長会主催の「議会広報研修会」が札幌市で開催され、例年にならない猛暑の中、全道から106町村488名の委員が参加しました。

奥尻町からは、広報編集

特別委員会（委員長・制野 征男）

の委員3名と事務局1名が出席しました。

研修会では、株式会社ジェイクリエイト代表の城市創氏が講師となり、「親しまれる議会広報づくり」と題して講演が行われました。

なかでも、道内



12町村から希望があった議会広報のクリニックを行いながら、広報編集における良い点や悪い点を明瞭簡潔にズバズバと指摘したり、原稿作成の仕方や注意点、タイトルのつけ方、写真撮

影の技術、編集作業のノウハウ、チェックポイントなど、より具体的にわかりやすく講演をしていました。

参加した委員は、「事細かく、わかりやすくとても参考になった。広報編集は奥が深い」と関心していました。

## フェリーダイヤ減便 議会として反対の立場

### 全員協議会開催

9月26日、役場内で各種産業団体を交えてのフェリー航路に係る協議が開催されたことに伴い、同日、7名の議員が出席して「全員協議会」が開会されました。

協議会では、麓議長及び新村町長から、来年度のフェリー運航の10月から1便への変更について会社側から報告があったことで協議した結果の説明があり、揭示された資料案をもとに協議が進められました。

これを受けて各議員から

は様々な意見や要望が出され、議会としてはダイヤの減便には反対の立場であり、会社側から参考人として来場してもらえるかどうか打診や再度の交渉を要望していくこととしました。



## お願い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整が必要ですので、議長の自宅には送付せず、直接、奥尻町議会事務局へ差出人等を必ず明記の上で送付してください。

なお、期日や期限等があるものについては、早めをお願いします。

◆送付先 奥尻町字奥尻806番地 奥尻町議会議長 宛

# 奥尻町議会のうごき

## 7 月

- 2～ 4日 北海道町村議会議長会主催議員研修会（札幌市）……議長及び議員7名出席
- 20日 総務産業常任委員会開会

## 8 月

- 22～24日 全道町村議会広報研修会（札幌市）……議員3名出席
- 24～26日 北海道新幹線新函館（仮称）・札幌間建設工事起工式、工事着工祝賀会（長万部町）……議長出席

## 9 月

- 7日 総務産業常任委員会開会
- 13日 議会運営委員会開会
- 19～20日 第3回奥尻町議会定例会開会
- 20日 決算審査特別委員会、議会運営委員会開会
- 25日 広報編集特別委員会開会
- 26日 全員協議会開会



### 編集を終えて

奥尻町議会でも9月定例町議会で、町側が議員の質問に対して逆に質問する「反問権」を行使できることになった。

議員から、町側からの要請があったのか、とか、質問が少ないのにさらに質問が少なくなるのではないかと、この意見が出された。

町側からの要請はないこと、質問が少ないことと、反問権の行使は議論の土俵が違うことであり、質問の質が問われるもの、このもったもな意見が出され、全議員賛同の中で実施されるにいった。

9月議会では、町側から反問権を行使する場面はなかったが、質問に緻密さが欠けてはいなかったか、反問権が行使されたらどのような回答するかを念頭においた質問が展開されなければならぬ。

反問権の行使には、こうした効果がなければならぬ。

議員の質問は、常に自分が町長になったらどのようにするか、この立場で質問をすることが大事だと言われている。肝に銘じておきたい。